

フリガナ 児童生徒名	学年 中1年	指導時間 週 () 単 月 () 単
指導時間 週 (5) 単位時間		

記入例 中学校1年
教科につながる基礎的な学習段階
～教科につながる学習段階

日本語の力	<p>【話す力】連文を使って、日常の出来事や学習のことについて、意味の通じる話をする<u>ことができる</u>。</p> <p>【読む力】リライト教材ややりとりなどの助けを得て、学年より下のレベルの親しみのある内容のテキストを読んで大意を理解<u>することができる</u>。</p> <p>【書く力】句読点、一字下げ、カギ括弧など、表記上のルールに留意して短い文章を書く<u>ことができる</u>。</p> <p>【聴く力】身近な内容のまとまりのある話を聴いて、大意を理解<u>することができる</u>。</p> <p>【教科学習に参加する力】授業のテーマに関連した教科用語や表現を聴いて、理解することは難しい。</p>
-------	--

指導目標	・教科等において、課題把握・情報収集・観察等の様々な活動に日本語で参加することができる。
------	--

日本語指導プログラム	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
	← 技能別日本語 →
	← 日本語と教科の統合学習 →

指導計画	指導内容、方法に関する評価および学習状況の評価等	
	前期	後期
技能別日本語 (4月～3月)		
<p>①漢字の基本的構成(部首、音訓、筆順、送り仮名など)を理解する。</p> <p>②興味のある課題に対して、日常語彙を使って作文を書く。</p> <p>③学校の行事など経験した事柄について、順序に沿って簡単な構成の文章を書く。</p> <p>④内容に見合った語彙や表現や文体を使って作文を書く。</p>	<p>①4年生の漢字教材が終了し、読みかえの漢字や漢熟語などの学習を進めている。学年を下げた漢字を例として用いることで、部首や熟語の組み立てなど、教科書の漢字学習内容を理解することができた。漢和辞典を使うことができるようになった。(9月)</p> <p>②毎日生活日誌に書くことができた。徐々に、<u>文法的な間違いが少なくなり、語彙も増え、自分の気持ちや感想が書けるようになった。</u>(9月)</p>	<p>③野外活動について、出来事の順序を明確にして、<u>新聞にまとめることができた。</u>(10月)</p> <p>④「日本とブラジルの文化の違い」など、いくつかの課題作文に取り組み、<u>構成を意識して作文を書くことができた。</u><u>接続詞や助詞も正しく使えるようになり、語彙や表現も豊か</u>になっている。(3月)</p>
日本語と教科の統合学習 (4月～3月)		
<p>【数学】</p> <p>・1年生の数学において、<u>操作活動</u>に日本語で参加する。</p>	<p>・「数と式」では、在籍学級の指導と並行して指導をし、文字式や一次方程式の計算方法を理解した。具体的な事象を示す文章題の中で、<u>数量関係を捉えることは、複文の読み取りに課題があり、まだ難しい。</u></p>	<p>・「平面図形・空間図形」では、個別指導において<u>易しい日本語で説明し、基本的な作図の方法を理解することができた。</u><u>直線や平面の位置関係を表す言葉を覚え、説明することができた。</u></p>
<p>【国語】</p> <p>・支援を得て、物語文を読み、登場人物や場面について理解する。</p> <p>・支援を得て、説明文を読み、時間的な順序や事柄の順序などについて理解する。</p> <p>・単語の並び順や見出し語を理解して、辞書を使う。</p>	<p>・国語科の領域別目標が「読む」ことに重点がある単元については、易しい日本語に書き直したリライト教材を活用して学習を進めた。「ちょっと立ち止まって」では、3つの図に関する<u>説明の部分と筆者の意見の部分の大意を読み取る</u>ことができた。</p>	<p>・「今に生きる言葉」では、<u>辞書</u>を使って故事成語の意味を調べることができた。</p> <p>・「少年の日の思い出」では、リライト教材を読んで、それぞれの場面での<u>人物や情景の描写に着目し、主人公の思いを捉える</u>ことができた。</p>
<p>【社会】</p> <p>・地理の学習において、教科用語を理解し、<u>分析的に考える活動や、考えをまとめる活動</u>に日本語で参加する。</p>	<p>・「世界の諸地域」の学習では、在籍学級の授業に先行し、グラフや地形図、分布図、主題図、写真の読み取りなどを学習し、それぞれの地域の気象や地形、産業などの特徴を<u>簡単な日本語で説明</u>することができた。</p>	
上記以外の指導・配慮等	<p>・前期は教室での授業への参加意識を高めるために、取り出し指導に加えて週2回、数学と理科で入り込み指導も行い、ノートの取り方、発表の仕方、課題の進め方などの指導を行った。</p> <p>・定期テストは、ルビを付けた問題で実施した。(5教科)</p> <p>・夏休み中にサマースクールを5回行い、全出席で課題に取り組んだ。</p>	

取り出し指導の指導時数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	14	18	20	16	—	18	22	21	18	15	18	12